



出でよ世界へ、視界を広く

鳥取ガス株式会社

代表取締役社長

児嶋祥悟

視界を海に囲まれた日本では、かつて若者が外国に夢を抱き、帰国すると郷土や国家で理想を育てた。ところが近年、海外留学の希望者が少なく、尊敬する人を訊ねても「両親」などと、身近なところで矮小化されている。

対話や討論で思考を練ることなく、授業を忠実に暗記する教育に長年慣らされてきたので、突然「社会」だ「貢献」だと強制したところで、無理な注文かもしれない。自ら考えさせる教育をせず、いまだ促成栽培をして経済成長のみ求めるわが国で、若者が「近場」に活路を求めるのは当然であろう。

「経済一流、文化二流、政治は三流」と言われたが、市場経済で揺れる昨今はこのままでは通用しない。外交無策も、その象徴ではないか。若者は広く深い視界と思考を求めて、いまこそ世界へ旅立とう。自分と社会のために。